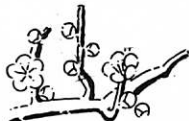
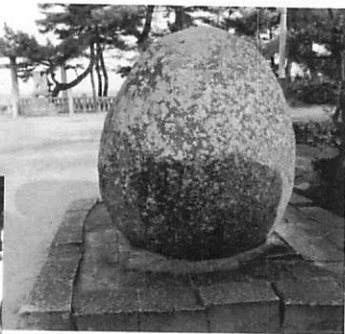




●弓削島の弓削神社境内には道鏡の金玉と称される直径1.5メートル余の丸石がある。俗説の道鏡巨根説は根深い→

●同じ境内に丸石と対とされる手水場石もある。



道鏡伝説ゆたかな 瀬戸内海の弓削島

改訂された道鏡の歴史を探る

宮城県古川市在住の本田義幾さんとは弓削通信・平成4年10月号の「響けとどろけ道鏡太鼓」という記事が、たまたま来島していた氏の目に止まったという偶然のご縁だった。

氏は当時小学校の教師をつとめる傍ら、ときの権力者に貶められた道鏡の汚名を晴らす「道鏡を守る会」の事務局長を続けられてきた。

氏はまたしばしば本紙にお便りをくださる。過去それを掲載させていただいたことも何度かあります。昨年末には2015年を通じての感想もいただいた。含蓄の多い名文なのですが全文掲載はスペース的に無理。よって今号は、さわりの幾つかを転載させていただきます。

加えて最近道鏡に関してお問

い合わせを頂いた、弓削島出身の山口氏のお便りも掲載させていただきます。1300年を経て道鏡が人々を驚かします。

《黙っていればOKとみなされる》
 (宮城県・道鏡&3・11通信 発行者 本田義幾)

いつもおたよりありがとうございます。こちら最終処分場問題、原発問題が根底にあり、そこへ戦争法、米軍基地移転国家の問題があり、平和団体は大忙しです。私は道鏡を軸足に出来ることをやっています。

学校給食センター方式(1箇所です)でつくり各学校へ運ぶ)でやるところが多くなりました。私がかつて勤務した管内は、センター方式と学校独自の2通りでした。小中一貫校ができるに

あたり一つの小学校跡を給食センターにする工事が始まりました。それを独自方式区の親たちは見ていながら、PTAの説明会で学校独自の給食をやめると説明され、やっとながら、PTAの説明は使ってもらえない、あたたかい給食は食べられない、学校行事に合う給食をつくってもらえなくする、そんな意見が出たそうです。

かなり以前から学校統廃合がすすんだら、ひとつは給食センターにするのと説明されたときは上の空だったようです。子どもたちのほうが敏感で、これからは、のびたラーメンを食べることになると言われたとか。

統合になって廃校となったところを活用するのも一つの案です。そのとき黙って何をしていままさから、推進者は言ったとか、言わなかったとか...

声をあげねばならないですね。

《2015年を通じて感じる事》
 東寺百合文書に光が当てられてのはうれしことです。公式には道鏡はありません。つまり昨年ほどマスコミ関係者に道鏡は注目されませんでした。それは奈良で発掘された拝賀儀式跡に関連する探究が進まなかったからでしょう。その中にあって大学の先生方(西山厚氏、勝浦令子氏)が称徳天皇を中心に道鏡を取りあげられていて、一定の前進だと思います。

ただしこれまでの視点でよいのか、です。(中略)伝承は全ての事実を語らない点では史実ではないかもしれませんが、事実の何らかを反映しているのはまちがいありません。但し物語る人の見識(学問的水準)や見方によって細切れになるため、伝承を探って結びつけようとすると矛盾がでてきます。(後略)

「しまなみ人物伝」
 村上 貢・著 2015年刊
 ●芸予諸島出身で海事に関し日本の近代化に貢献した12名に光をあてた。¥1800。
 「濱田國太郎を顕彰する会」
 0897-72-9188 事務方平山彦

読んでみませんか

※お知らせ
 2月の映画研究会
 はお休みです。

第20回 因島自由大学
 どなたでも参加できます

16年6月11日(土)午後2時~4時
 芸予文化情報センター
 学費2000円(当日会場でお支払いください)

海老名香葉子



日私たちの国に起きたこと。

青木喜代子

薪ストーブをつけて三シーズン目に突入。中間報告をします。まず思った以上に快適。ひとつ。文句なしに暖かく、台所仕事も苦にならず。薪ストーブ自体がかなり熱くなっている。火が消えても当分暖かい。これには感動した。心配していた薪の調達も、今のところ順調。「薪にする木はありますか?」「薪にする木はありましたあ。」と、いろんな人に声をかける。すると「うちの山の木をあげる。」と。



薪ストーブ

「薪ストーブ囲んで女子会したいです。」と申し出があり、鍋パーティーもやった。部屋に入って開口一番、「エアコンとちがってやわらかなぬくさですな。」としみじみ語った。

難点もある。白い毛が自慢の猫のサスケが、冬場は黒い長靴をはいた猫になり、全体がすすけている。気を付けていても、灰もすすも舞います。でもこれさえ受け入れられたら快適です。明日は煙突掃除します。

薪ストーブをつけて三シーズン目に突入。中間報告をします。まず思った以上に快適。ひとつ。文句なしに暖かく、台所仕事も苦にならず。薪ストーブ自体がかなり熱くなっている。火が消えても当分暖かい。これには感動した。心配していた薪の調達も、今のところ順調。「薪にする木はありますか?」「薪にする木はありましたあ。」と、いろんな人に声をかける。すると「うちの山の木をあげる。」と。

薪ストーブ

「薪ストーブ囲んで女子会したいです。」と申し出があり、鍋パーティーもやった。部屋に入って開口一番、「エアコンとちがってやわらかなぬくさですな。」としみじみ語った。

難点もある。白い毛が自慢の猫のサスケが、冬場は黒い長靴をはいた猫になり、全体がすすけている。気を付けていても、灰もすすも舞います。でもこれさえ受け入れられたら快適です。明日は煙突掃除します。



海員組合を創った男・探訪

濱田國太郎を顕彰する会 (参加自由)
 (毎月25日13時〜。生名中央公民館2F青年学級室)
 (20)

【濱田國太郎の出家】 ⑥最終回

吉井良久 (雷声寺住職)

(前号つづき)

・結局、国太郎さんは、融通念佛宗清原實全和尚と抱き合わせのかたちで、雷声寺開山上人を名のり、住職活動を進めることになった。

實全和尚の責任のもとで、国太郎さんと雷声上人は、おおいに僧侶活動、寺院活動を進めることが出来ることになったのである。

・昭和5年の雷声寺建立構想から7年を要して、ようやく伝統仏教宗派の寺院として、僧侶として、名実ともにここに念願の雷声寺開山を果たしたといえる。

・昭和12年以降、雷声和尚は組合時代の知人や新聞記者たちとの接触も続けながら、寺院活動を進めた。ただ、世情は戦争突入前夜から、太平洋戦争真只中の時代になる。戦後しばらくは、焼け出された人々をただただ受け入れるという、そんな寺院活動一色の日々だったということである。

・この間の経過を整理すると、

1930 (昭和5)年: 雷声寺建立構想。

1933 (S8)年: 雷声寺建立地鎮祭。

高野山真言宗との話し合い。

1934 (S9)年: 雷声寺竣工開山。

香川讃岐国琴平宮から金毘羅大権現を請來。

1935 (S10)年: 宗教活動に専念。

(船員組合長を辞任)。東大寺行脚。實全出會。

1937 (S12)年: 融通念佛宗の僧籍を得る。

(剃髮式・末寺認定・實全住職下)

1952 (S27)年: 1月22日付神戸新聞記事イタリアゼノアILO総会関係。

1953 (S28)年: 「雷声時報」発行開始。

1953 (昭和28)年11月2日付産業経済新聞記事。樫原神宮関係。

1958 (S33)年: 3月15日雷声上人 (海祥院殿飛雲上人雷声和尚)遷化85歳。

1958 (昭和S)年3月15日付・・・勲四等瑞宝章。

1958 (昭和S)年3月25日付・・・内閣「特使を以って位記を追賜」

一以上一

◆公職改選に向けて 民意と議員を問い直す

本年十一月までには、当町の首長(町長)および議会議員の任期満了に伴う改選があります。合併して十二年、この町は合併により豊かで機能的になったでしょうが、ならなかったでしょうが。

判断はもちろん住民の皆さんそれぞれが下すべきものですが、国法にしたがい四年に一度の首長や議員の改選があることは、現状継続か進路変更の機会とするか、民意が問われます。

七十年前の敗戦後、完全普通選挙となり、日本国民は一定年齢に達すれば男女とも公職の選挙権、被選挙権が付与されました。男女等しく、自らの幸福追求権発露のひとつとして、選挙に關与できるようになりました。今更申すまでもありませんが我が国の政治体制は「代議制民主主義」と呼ばれているものです。有権者が選挙を通じて政治家を選び、政治家が政策決定を行う仕組みです。ここに言う政治家とは、単純にいえば、政治家

議員活動録

(35) 上島町議会議員 平山和昭

代議制民主主義

地方議会なんて要らないか？

に限らず都道府県市町村の、それぞれ様相は少しずつ違いますが、選挙で選ばれる政治に關与する者、という事になります。今号から、我が町の現状と課題、課題解決のために何が必要で、どうすればそれを手に入れる事が出来るのかを、何回かにわけて考えてみたいと思います。

民意と無用論と真意

首長無用論はあまり聞かれません。議会(議員)無用論は根深く住民からは発せられます。理由は民意が政策に反映されないということが多くに思われます。

選挙の際、首長ならこれこれのことをする、といえ実行せざるをえません。では議員の場合はどうか。「皆さんの声を議会に届けます」とあるのはもうすこし積極的「皆さんの声を首長の政策に反映させます」ぐらいのことは言うかもしれません。ここである「皆さんの声」が、いわゆる民意となるはずですが、選挙時の約束は公約。果たせなければ公約違反で次回選挙でというのが普通の在り方でしょう。では現実、その普通のこ



▲弓削島浜都海岸にある米盛中英、仏、露船等にも乗船したベテラン船員・田坂為松の業績顕彰碑。為松は田坂初太郎の末弟。

とがなっているのでしょうか。民意はどこに記録されるのか。選挙にあたっては公約を紙に書くなり、声で発するなり、今までのこの町の選挙運動を顧みてどうでしょうか。当落の結果は広報紙などで記録にのこりますが、選挙期間中にそれぞれの候補者がした公約は、どこに残っているのでしょうか。ここに民意の正体が垣間見えます。そもそも「皆さんの声」という民意は、いっとういう経路で候補者に届いていたのでしょうか。言った言わないはともかくとして、しかるべく手続きを踏んで声候補者に届けたのか。むつ選すれば水に流せるのか。むつ返され、住民に対する責任の無い議員で構成される議会ということになれば「議会なんか、議員なんか無くていい」ではないか。は、ちつとも不思議ではないのです。

選挙は立候補せねば選ばれない。その上で前述の不要論は立候補する側の問題なのか、選ぶ側の問題なのかそれとも制度の問題なのか・・・。

出馬の目的が明確でなくても、民意の収集や、公約が無くて、組織力や親戚力があれば当選を果たせてきた例は、過去数え切れません。その結果、皆さんの声を議会に届けたり、政策に反映させる義務を負わない議員の誕生ともなります。それが繰り返され、住民に対する責任の無い議員で構成される議会ということになれば「議会なんか、議員なんか無くていい」ではないか。は、ちつとも不思議ではないのです。

豆まきは中国の風習が伝来したものだそうだが「魔(の)目」に豆をぶつけて「魔を滅す」という言葉遊びで縁起を担いでいます。同じ音なのに、正反対の意味合いを持つのが面白いですね。全く違うものに見えても、見る角度が違っただけで本当は一つなのだという真理を差し示す好例だと思います。先述の「鬼も内」も魅惑的な言葉で、恐れ抱く鬼という存在を切り離すのではなく、自分の内に鬼を据えて邪氣を払ったり、自分の内にある鬼の一面を意識したり多角的に捉える柔軟さを感じます。まあ人間ほど怖い鬼はいないと、思いますが、

写真は菊間のかつら館の玄関にある鬼瓦です。思わず笑みがこぼれてしまう鬼の仕掛け何個見つけられるでしょうか。



自分の内なる鬼をしる
 正月が済んでほっと一息...
 つく間もなく、春に向けて何だかんだ行事が目白押しです。
 「鬼は外、福は内！」でお馴染みの節分もその一つ。皆さん年の数だけ炒り豆頂きましたか？ 翌日が立春であるのが旧年の邪気祓いをするのが節分行事の由来だそうです。鬼神をお祀りしている神社や地域によっては「鬼もく内」と言うようですね。

わたしアンテナ
 黒川みき (大三島)